

第71期

2018.04.01 ▶ 2019.03.31

株主の皆さまへ



## トップメッセージ

いかなる時にも医薬品を患者さまのもとへ  
お届けするための取り組みを推進します  
～全ては健康を願う人々のために～

当期の医療用医薬品市場は、2018年4月の診療報酬改定において7.48%の薬価基準引き下げが実施されるなど厳しい環境でしたが、当社はがん治療薬などの新薬、スペシャリティ医薬品などの売上伸張や、流通改善ガイドラインに基づく製品価値に見合った価格交渉に努めた結果、期初計画を大きく上回る業績結果となりました。

また、患者さまや医療機関が抱える課題を解決する当社独自の顧客支援システムの開発・提案や地域包括ケアシステムの構築に貢献するなど、幅広い分野で存在価値を発揮する付加価値サービス型ビジネスモデルへの変革を推進するとともに、業務の効率化と標準化、人員の適正化など生産性の向上を図ることで、収益性の向上に取り組んでまいりました。

2018年11月には、最新鋭ロボットの活用により一層の自動化を実現する高機能物流センター「TBC広島」が稼働となり、生産性の向上に加えて、災害時にも医薬品を安定的に供給するという社会的使命を果たすために万全の体制を構築しております。また、薬局業務一元管理本部システム「ENIF本部」の活用による最適配送回数への取り組みにもチャレンジしました。共創未来ファーマ株式会社につきましても、富士フィルムファーマ株式会社より承継・販売移管を受けるなどジェネリック医薬品のラインナップの拡充を図りました。さらに、株式会社スズケンと2018年7月に顧客支援システムの共同利用、2019年2月に新たな流通モデル(ジェネリック医薬品・スペシャリティ医薬品)の共同展開について基本合意しました。

今後も流通改善と物流機能の強化に取り組み、顧客支援システムの普及促進によるフィービジネスの拡大を図るとともに、医療機関との関係強化や、最適配送回数の実現に向けた施策の推進など、事業基盤の強化に努めてまいります。株主の皆さまには引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



代表取締役会長 CEO 濱田 矩男

## 認知症高齢者とその家族を 支えていくために、私たちができること

高齢化が急速に進行する日本社会で  
認知症高齢者とどう向き合うかは大きな課題となっています。  
「私たちに何ができるか？」を考え続けていきます。

### 調剤薬局が主催する認知症カフェ『みらいカフェ』

共創未来古河南薬局(茨城県古河市)では、「認知症高齢者を支えら  
れる地域づくりを目指していきたい」と、2016年より『認知症サポ  
ーター養成講座』を開催し、2017年からはサポーターによる情報交換  
イベント『みらいカフェ』もスタート。古河市役所が発行している「認  
知症ガイドブック(認知症ケアパス)」に紹介されています。

みらいカフェでは、処方元である古河赤十字病院の認定看護師に  
よるケアに関する講話や当社の薬剤師、管理栄養士が中心となって  
行う栄養相談など様々な催しを実施。支える人たちの輪が広がって  
います。



## 地域の力で認知症高齢者と 家族をつなぐ『どこシル伝言板』

認知症高齢者の増加とともに「身元不明で帰宅が叶わない」「認知  
症と理解されないまま保護されず死に至る」事案が発生しています。  
これを防止するため介護関係者の方々の知見をもとに開発したのが  
『どこシル伝言板』です。認知症を患う高齢者の情報を、家族の方がイ  
ンターネット上の伝言板へ登録、それに紐づけられたQRコードが印  
刷されたシールを認知症高齢者の衣類や持ち物に貼付します。徘徊  
に気付いた方が、スマートフォンでQRコードを読みとり認知症高齢  
者の情報にアクセス。伝言板でのやりとりを通じて引き渡しを行う  
等、行方不明時の発見に役立てよ  
うというものです。

現在、23都県69市町(2019年  
度開始を含む)に導入されていま  
すが、一人でも多くの認知症高齢  
者の尊厳と自立を守るサービス  
として、さらに多くの市町村への  
導入に取り組んでまいります。



### 映画「がんと生きる 言葉の処方箋」に特別協賛

当社は創立70周年事業の一環として、映画「がんと生きる 言葉の  
処方箋」に、特別協賛をしています。当作品は、がん患者を言葉で  
癒す「がん哲学外来」と、そこから発展して生まれた「がん哲学外  
来メディカル・カフェ」の活動を追ったドキュメンタリー映画で、  
「文部科学省選定作品」に選出されています。



## 連結業績ハイライト(ポイント)

### Point

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の  
全項目で期初計画を大きく上回る

### Point

流通改善ガイドラインに基づいた価格交渉と、  
生産性向上のための様々な取り組みが収益性向上に寄与

### Point

来期(2020年3月期)は増収減益予想となるが、  
年間配当金は、記念配当で10円増の40円を予定

## 業績データ

(単位:億円)

	2018年 3月	2019年 3月	2020年 3月(予想)
売上高	12,133	12,221	12,230
経常利益	250	214	218
親会社株主に帰属する当期純利益	143	138	136
1株当たり当期純利益(円)	209.84	207.71	199.56
1株当たり配当金(円)	30.00	30.00	40.00
ROE(自己資本当期純利益率)(%)	7.3	6.6	—

## 会社情報

### ● 会社概要

会社名 東邦ホールディングス株式会社  
 本店 〒155-8655  
 東京都世田谷区代沢5-2-1  
 電話番号:03(3419)7811

丸の内 〒100-6613  
 オフィス 東京都千代田区丸の内1-9-2  
 グラントウキョウサウスタワー13F  
 株式担当:03(6838)2801  
 IR担当:03(6838)2803

設立 昭和23(1948)年9月

資本金 106億49百万円

株式 東京証券取引所市場第一部  
 (証券コード:8129)

従業員数7,937名(連結)

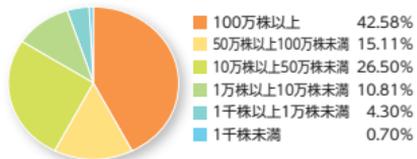
### ● 株式情報

発行可能株式総数 192,000,000株  
 発行済株式の総数 78,270,142株  
 株主数 4,215名

#### 所有者別株式分布状況



#### 所有株数別株式分布状況



### ● 株主優待制度

#### 対象

毎年3月31日(当社期末)最終の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上保有の株主さまといたします。



2018年3月期の贈呈商品例

#### 内容

保有株式数に応じて以下の商品を贈呈いたします。

100株以上1,000株未満保有の株主さま

1,000円相当の当社取扱商品

1,000株以上保有の株主さま

3,000円相当の当社取扱商品

※ご優待内容については見直しをすることがございます。

贈呈時期は毎年7月中の送付を  
 予定しております。

### ● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
公告方法	電子公告( <a href="https://www.tohohd.co.jp/">https://www.tohohd.co.jp/</a> )による。 (止むを得ない事由により電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載する。)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031(平日9:00~17:00)

#### (ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問合せください。  
 なお、三井住友信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。